

お茶会だより 12月号

矢島保育園 R3.12.24(金)

早いもので、もう12月。一年の締めくくりの月になりました。

今日の床の間は、子ども達が楽しみにしている、クリスマス一色となっており、その可愛いらしい姿を見て、にこりと頬がほころんでいました。



今日は先月に引きつぎ、箸と楊枝の作法を学びながらのお稽古となりました。懐紙とお皿代わりにし、楊枝を使い一口サイズにしてお菓子をいただきますが、力が入りすぎてお菓子がポロポロこぼれてしまう場面もありました。植田先生にアドバイスをいただき、すぐに実践してみることで、少しずつコツをつかんできたようです。

お稽古も後半になり、作法をしっかりと覚えてきていますが、まだまだ自信なさげな姿も見られます。次の動きを促す言葉ができるだけかけないようにすすめていく中で、次の言葉が分かっているもの友だちと、どうやって息を合わせようか、誰が言い出すのかみんなさぐりさぐり。植田先生からも、「あとは自信をもっただけ」と背中を押していただきました。一人一人が自信をもって取りくめるよう見守っていきたいと思います。



【今月の床の間】



もうすぐクリスマス。サンタさんが来る日を心待ちにしている子ども達の様子を思い浮かべながら、用意して下さったようです。子ども達の目もキラキラ輝いていました。

【掛け軸】 聖夜

【香合】 サンタクロース

【茶花】 ツバキ、名前知らず

【お菓子】 桃山

【お茶会の様子】



お稽古が始まる前の植田先生のお話を楽しみにしている子どもも多く、毎月興味深く聞いています。いつも優しく穏やかな植田先生の雰囲気緊張もほぐれるようです。

先月に引き続き、箸と楊枝の使い方を学びました。

楊枝の先を使って、お菓子を小さくすることがポイントだね。



飲み終わったら、飲み口を拭くよ

上から持って下から支えて…
箸の作法も覚えてきたよ。



次の作法を考えて、自分で考えて動けるようになってきました。